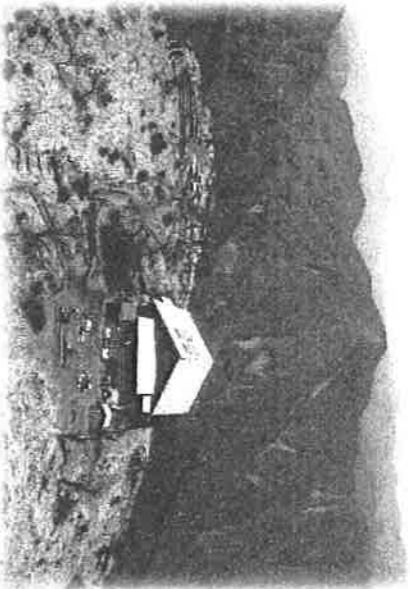


蛭ヶ岳山頂の山崩れの防止柵

数年前に神奈川県保全センターで施行されました。ところが防止柵は木組みの上に土で造られていたので一年より雨風等で土砂が流失してしまつた為、このたびは木組みの中に石を埋め込み安定させる事業を行います。自然を損なわないよう期待されていきます。今年10月～11月の実施が決定されました。



ハコネヒメボタル

今年は蛭ヶ岳では発見されず

全国的にもたいへん貴重種の中へハコネヒメボタルは笹の裏側に棲む巻貝の中へ幼虫を産む小さなホタルで、7月中旬から7月下旬まで蛭ヶ岳山頂で見られます。来年には是非期待したいと思います。

声 声 声

蛭ヶ岳山頂の思い出

市川昌宏

蛭ヶ岳山頂での非常に貴重な体験を披露いたします。時は、横浜博覧会開催された年(1988)の7月20日、趣味のアマチュア無線の仲間数人とアマチュアテレビの通信実験を行うため蛭ヶ岳山頂へ宿泊しました。

この年は梅雨が早めに上がり天候に恵まれ、アマチュアテレビの通信実験も成功し夕食の後、山荘の主とひとしきり談笑し就寝する前に、ライトアップされた博覧会会場の観覧車やハイブリッドの見事な夜景をもう一目見ようと山荘の外へ出て、しばらく眺めたあと、立っている周囲を見回したところ、何か光るものがフラフラ空中を動き回っているのが目に止まりました。それも一つや二つではなく無数に飛び回っています。

まさか水のない山頂に蛍がいるとは思いませんから「何か光る虫みたいなものかいるかあれば何ですか」と山荘へ駆け込みました。答えは「蛍」です。

山荘の主の話では、毎年この時期に5～7日間ぐらいい飛び回るが、毎年数が減っているように感じること。

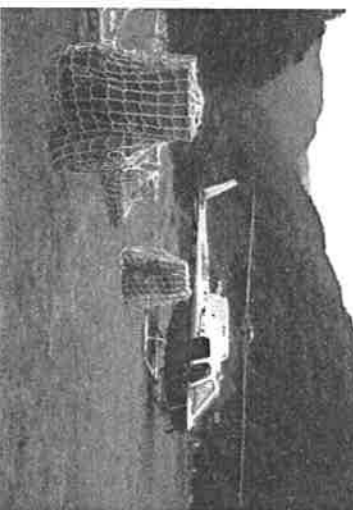
後に新聞で知ったのですが蛍の名前が「箱根丹沢蛭蛍」だそうです。陸奥蛭として大変貴重な種だそうです。

山頂には流れる水はありませんが地面を覆う露をたっぷり含んだ苔があり、この中に小さな巻き貝がたたく生息しているでこれを餌として生活しているようです。

その後何回か登りましたが、ちょうど良い時期に登る機会が無く過ぎてしまいました。もう一度、「山頂の乱舞」を堪能したいと思っています。

それまで無事に繁殖していることを願っています。この記事は平成10年の蛭ヶ岳山荘友の会通信に掲載されました。

今年秋の蛭ヶ岳山荘の荷揚げを実施します
今年の食料・燃料等の荷揚げは10月5日に実施しました。



昨年の荷揚げの様子

蛭ヶ岳南面の

ユージンロッジを

平成28年に神奈川県が民間へ払い下げで募集を始める

ユージンロッジの活用に関する提案募集要項

1 趣旨

ユージンロッジは、昭和45年に県民レクリエーションの高揚を図ることを目的として、県が設置した宿泊施設です。

当該施設に至るユージン渓谷は、新緑や紅葉の名所として知られ、また、渓谷を流れる玄倉川の清流などすばらしい景観を有する地域であり、かつては団体客などで賑わいをみせていました。

しかしながら、当該施設に通じる玄倉林道のトンネル内でクラックが発見されたことをきっかけに、平成19年4月に運営を休止し、現在に至っています。

このたび、民間事業者の方に、この施設を有効活用していただきたいと考え、広く提案募集することとしました。

2 対象物件

(1) 所在地 山北町玄倉597-15

(2) 面積等 建物931.98㎡(昭和45年築、鉄筋コンクリート造2階建て、

未登記、当時の宿泊定員80名)

土地1,385.18㎡(分筆は行っていません。)

(3) 建物の現況等

ア 建物の詳細は平面図・立面図で御確認ください。

イ 図面類は竣工図面ではないため、現況と異なる場合があります。現況と異なる場合は、現況優先での引き渡しとなります。

ウ 現地状況については、現地見学会を別途行いますので、そのときに確認をしていただきます。

(4) 土地の現況等

ア 敷地面積(1,385.18㎡)は、測量等により変わる可能性があります。

提案事業が採択された後、県が敷地面積を確定します。

イ 敷地境界については、位置図のほか、現地見学会で確認をしていただきます。

ウ 現在の敷地には、施設維持管理用車両のスペースがありませんので、提案採択後、管理車両2台分程度のスペースを現在の敷地に加える予定です。

